

株式会社 不二ゴム工業

事業計画名

樹脂成形製品の新たな生産システム構築のため
金型製造を不要とした生産設備の導入



3Dプリンタ本体

事業に取り組んだ経緯・背景

多種多様の分野で行われる製品開発における樹脂製品（ゴム）については、試作品開発に使用する樹脂製品（ゴム）の製造は国内で行い、本生産となる大量生産時の製造はコストの安い東南アジアなどの国外に発注する形態に変化している。そのため、国内ゴム製品製造企業の売上の中心は試作品開発に使用する樹脂製品（ゴム）の生産にシフトしてきた。

樹脂製品（ゴム）の生産には金型を製造することがもっともポピュラーな手法であるが、金型製造にかかる費用が10～50万円ほどとされており、生産における高額な費用が問題とされている。特に問題とされている点は、生産数量にかかわらず金型を必要とするため、たった一つの生産にも高額な費用が必要となることにある。その高額な費用という課題を解決する手法として、金型に比べ低コストな職人の手作業による切削加工が生まれた。しかし、手作業



精密シリコン成型品

であるために発注者の求める精度に対応できないケースが見受けられるため、市場での普及に至っていない。その結果、試作開発においても低コストな海外に流出することが懸念されている。これは、国内ゴム製品製造企業にとって主軸事業の衰退につながると危惧されているため、対策は急務である。このような外部環境の変化から、価格と精度の課題を解

決し、海外流出を抑止するため、高い精度を維持しながらも低価格な成形を可能とする3Dプリンターを導入し、提案される試作開発に対応できる生産設備を確保することとなった。

事業内容

「3Dプリンター」を導入し、これまで樹脂成型製品の製造に必要とされてきた金型を不要とした安価で高精度な樹脂製品を短納期で生産できる新たな生産システムを構築する。特に試作品開発において圧倒的に効果を発揮する。

事業の成果

本事業で導入した新たな生産システム「3Dプリンター」により、あらゆる業種の試作開発案件に携わることができました。試作の問い合わせ件数も増加し、取引先企業数も5年で600社以上増えました。

事業の現在の状況

事業自体で利益を上げるところまでは至りませんが、沢山のメーカーさんに弊社を知ってもらえたことで従来業務（各種ゴム製品）の引き合いも増え結果的に3Dプリントを始めとする設計&試作分野～量産製造品の納品までできる、ワンストップ型の企業へと変貌をとげることができました。

会社規模と品質のバランスが良く、小回りもきくので、特に試作分野～量産初期に強みのある企業となりました。3Dプリンターにおいてもまだまだニーズは高く、今後は3Dプリントをただ造形するだけではなく不二ゴムだからこそできる付加価値をつけていくことが望まれます。

いかなるツールもどのように使うか?がすごく重要であり、使い手のスキルで成果が変わります。

今後はお客様のニーズをしっかりと感じ取り、かゆいところに手の届く製造サービスを展開していきます。



代表取締役 山田 登

株式会社 不二ゴム工業

◇代表者名 代表取締役 山田 登
◇設立年月日 昭和55年4月1日
◇所在地 〒929-1127
かほく市大崎ハ31-1
◇TEL: 076-283-4401
◇FAX: 076-283-3597
◇URL: <https://www.22-56.jp/>
◇E-mail: info@22-56.jp
◇従業員数 51人
◇資本金 20,000千円

【得意分野】

- ・多品種小ロット生産/企画/設計における立ち回り
- ・品質とコストのバランスの取れた最適工程作り
- ・要望（コスト重視、品質重視、スピード重視etc）に合わせた提案試作

【主要取引先】

北星ゴム工業株式会社、
東邦ゴム工業株式会社、
株式会社高木化学研究所、
株式会社ブリヂストン、
日本電産トーソク株式会社、
株式会社第一 etc

【商品】

各種大手メーカー様のOEM生産

【代表者から一言】

不二ゴム工業では、どこでもできるものではなく「不二ゴムだからできるものづくり」をモットーに日々の活動を行っております。その思いが製品に宿り、使用者の方の喜びにつながっていることを従業員の一人一人が理解し、「知恵と工夫」を凝らすことで、社会に貢献できる人づくりに繋げていければと取り組んでおります。今後も世の中の役に立つ製品づくりに多く携われればと思います！



2019年集合写真